

一般質問



北郷伯弘 議員

今後の活用方法は

町長／Jヴィレッジ利用促進のため駐車場に

減容化施設跡地

北郷

今年4月にJヴィレッジがランドオーブンし多くの人が訪れましたが、広野町にはスタジアムがあり、隣に減容化施設の跡地が更地になったままありますが、今後、町としてはどのような活用を検討されているのか。

町長

「減容化施設の跡地利用」については、J

ヴィレッジの一日のイベントに2万人もの人が訪れ、双葉地域における一日の来訪者では、過去最大級となりました。

イベントの際には、来訪者や関係者の駐車スペースが足りない現状にあります。福島県、福島県電源地域振興財団、Jヴィレッジ等と連携し、スタジアムの利用促進を図るため、その隣接地にあたる減容化施設の跡地を県のもとで駐車場に整備することとしました。

渇水対策

農業用水供給の取り組みは

町長／ため池改修等に取り組む

北郷

今年は水が不足し田植えができないのではないかと心配された地域がありました。その後、恵の雨により田植えが何とか出来た状況でありました。今後、農家の方が水の心配をすることなく米の作付けができるような対策をたてるべきです。

町長

本年春は田植え準備が始まる4月上旬から、田植え繁忙期となる5月中旬までの降水量が過去3年間の同じ時期の降水量と比較しても極端に少ないことから、今般の水不足となりました。特に、本沢地区、岩作地区、田戸作地区は、9・9ヘクタールにおいて、一時、田植えができない状況となりました。ため池や自然流水を利用している区域の渇水対策は、限られた水資源の有効活用が図られるよう水需要の集中等を回避するとともに、ため池の状況を踏まえ改修等に取り組みます。



仮設減容化施設跡地

農業用水不足

灌漑施設の機能強化を

町長／ため池改修・老朽化施設の補修を実施

小磯

本年春、これまでにない深刻な水不足に陥りました。そこで以下お聞き致します。

町長

①水不足の原因は、降水量の極端な減少でした。②ため池や自然流水を利用している区域の渇水対策は、限られた水資源の有効活用が図られるよう水需要の集中を回避するとともに、ため池の状況を踏まえ改修等に取り組みます。

町長

①災害種別に異なっていた災害対策本部体制の統一、ハザードマップの周知、津波避難対策の強化、避難支援個別計画の作成、備蓄を含む支援物資対策、防災イベント実施など小中高生との連携等の方針に基づき内容を修



西の沢ため池

②「ひろの原子力災害避難マニュアル」を作成し各戸配布及び町ホームページに掲載しております。原子力災害が発生し町外避難を要する場合、住民等への情報伝達は、防災行政無線及び緊急速報メール等により周知します。

③各地域からの要望や、老朽化がすすむ町内3河川流域の灌漑施設はどうか。



小磯利雄 議員

車の使えない方は、一次集合場所となる広野小学校へ徒歩等で集合し、町又は県が用意したバス等で県が設置するスクリーニング会場及び避難中継所を経由して避難先である小野町・石川町・浅川町・平田村の四町村に避難します。